

プレスリリース

2026年6月16日

ゼスプリ インターナショナル ジャパン株式会社

**働く世代の〈隠れ栄養不良〉が"真実の口"に暴かれる？
オフィスワーカー向けの次世代自販機
「栄養診断自販機」が有楽町駅前に期間限定で登場！
～ゼスプリと OFFICE DE YASAI が「ワーク栄養バランス」を新提案～**

ゼスプリ インターナショナル ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：安斉 一郎）は、2026年6月16日（火）、日本の食事・栄養課題に取り組む「ゼスプリ栄養改革プロジェクト」の一環として、設置型健康社食@OFFICE DE YASAI（オフィスでやさい）（以下、OFFICE DE YASAI）を運営する株式会社 KOMPEITO（本社：東京都品川区、代表取締役 CEO：渡邊 瞬）とパートナーシップ提携を締結し、働く人の栄養環境を見つめ直す「ワーク栄養バランス」を宣言いたしました。あわせて、オフィスワーカーの栄養状況を可視化する新たなソリューションとして「栄養診断自販機」を共同開発いたしました。

また今回、都内有数のオフィス街である有楽町に、「栄養診断自販機」が期間限定で登場。初日となる本日は、本取り組みに関するプレゼンテーションも実施し、本製品の開発背景や、「ワーク栄養バランス」という新たな考え方、両社によるパートナーシップ提携について発信するとともに、来場者に「栄養診断自販機」を実際に体験いただきました。



1. 「栄養診断自販機」について

＜開発背景＞

いま日本では、成人の死亡原因の約 85%を生活習慣病が占めており*1、その大きな要因である「栄養不良」は成人の 3 人に 1 人にのぼるといふ危機的な状況です*2。特に昼食の栄養バランスが乱れている人は 83%に達しています*3。

この問題の本質は、自身では気づきにくい点にあります。事実、栄養不良であるにもかかわらず、自分は栄養不良だと認識していない人は 52%にのぼり（自社調べ*5）、オフィスにおける“隠れ栄養不良”の存在が深刻視されています。

ゼスプリではこれまで、キウイフルーツの栄養価や健康価値の訴求に取り組んでまいりましたが、実際の行動変容につなげるためには、“気づき”と“行動”を同時に促す体験設計が重要であると考えました。そこで今回、OFFICE DE YASAI とパートナーシップ提携を結び、自身の栄養状況のチェックから改善アクションにその場でつなげる新たなソリューションとして、本製品の開発に至りました。

*1) World Health Organization (WHO), Institutional Repository for Information Sharing (IRIS) Data Sheet (Japan): "85% of deaths were from noncommunicable diseases" (<https://iris.who.int/server/api/core/bitstreams/db06a907-0d4b-43d7-a49a-a7eb3623e489/content>)

*2) 厚生労働省「健康日本 21（第三次）」の「栄養・食生活に関連する目標」における「BMI 18.5 以上 25 未満（20 歳以上 64 歳まで）および BMI 20 を超え 25 未満（65 歳以上）の者の割合」の「現状値 60.3%」をもとに算出 (<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/kaigi/attach/pdf/230906-17.pdf>)

*3) 「ゼスプリ 昼食の栄養把握調査」調査方法：Web アンケート / 調査期間：2025 年 6 月実施 / 調査対象者：全国 20-60 代 2,000 人 / 「普段食べている昼食の特徴」への回答において「栄養バランスがとれている」に該当しない人 = 83.1%を抜粋

*4) 「ゼスプリ 栄養意識調査」調査方法：Web アンケート / 調査期間：2026 年 4 月 16 日～20 日 / 調査対象者：20-70 代男女 2,400 人（うち有職者：会社員・公務員・経営者/役員・自営業・自由業 1,190 人）を対象とした回答結果より抜粋

*5) 「ゼスプリ 栄養意識調査」調査方法：Web アンケート / 調査期間：2025 年 9 月 2 日～4 日 / 調査対象者：20-70 代男女 2,400 人「身長・体重」への回答より BMI 算出。*2)の BMI 基準において栄養不良（低栄養・過体重）に該当する人を抽出。「自分は栄養不良に該当すると思うか」の回答結果を集計。

<製品概要>

本製品は、栄養状況の可視化とフルーツ摂取を一体化させた、キウイの自動販売機です。

「真実の口」に手をかざすことで自身の栄養状況を診断することができ、診断後には、“身近なフルーツ*6 の中で栄養素充足率 No.1”のキウイが提供される仕様となっています。

今後は、実際のオフィス内への設置を通じて、従業員が日常的に自身の栄養状況を意識しながら、手軽に栄養を摂取できる環境づくりを目指します。

*6) 国内で流通している身近なフルーツとして、いちご、バナナ、かき、みかん、メロン、ブルーベリー、レモン、すいか、もも、ぶどう、りんご、梨とキウイを比較。

<製品特長>

① 「真実の口」をモチーフにした体験設計

本製品は、「真実の口」をモチーフにしたユニークなデザインを採用。自身では気づきにくい栄養状況の“真実”を知るきっかけを提供します。手をかざすことで栄養状況（果物に含まれるカロテノイド量）を診断できる、シンプルで直感的な操作性を備え、日常の中で無理なく継続的に利用できる体験設計としています。



② 栄養状況をその場で“見える化”

ドイツの Biozoom services 社が開発した測定器を活用。果物などに含まれるカロテノイド量を、皮膚上から光学的に測定することで、栄養状況を推定します。利用者は「真実の口」の中に手をかざすだけで、日常生活では気づきにくい栄養状況を確認することができます。



③ スコアに応じてキウイを提供

栄養状況の診断結果に応じて、「真実の口」の内部からキウイが受け取れる仕様としています。結果の可視化と同時に行動を促すことで、栄養改善の習慣化を図ります。



2. 「栄養診断自販機」体験会について

6月16日（火）～19日（金）の期間、有楽町駅前の「東京交通会館」にて体験会を実施いたします。来場者の皆さまには、①手をかざして栄養状況を診断し、②その結果をその場で可視化、③スコアに応じてキウイを受け取る、という一連の流れを通じて、“測る・気づく・栄養補給”という新しい栄養体験を実感いただけます。

■ 概要



- ・設置場所 : 東京交通会館 サンプリングエリア・イベントスペース
- ・設置期間 : 2026年6月16日（火）～19日（金）
- ・時間 : 16日（火） 11:30-20:00
※13:00-14:00 は実施時間外
17日（水）～18日（木） 12:00-20:00
19日（金） 9:00-11:00
- ・費用 : 無料

※キウイが無くなり次第、終了となります。

※また、混雑状況に応じて整理券を配布する場合がございます。ご案内までお時間をいただく可能性がございます。

※体験はお一人様1回までとさせていただきます。

また、体験会初日となる本日は、『「栄養診断自販機」発表会』を実施。ゼスプリ インターナショナル ジャパン株式会社の安斉一郎氏と、OFFICE DE YASAI を運営する株式会社 KOMPEITO の好岡利香子氏が登壇し、本製品の開発背景や「ワーク栄養バランス」に向けての思い、ならびに両社のパートナーシップ提携における今後の展望などについてプレゼンテーションも行われました。



ゼスプリの安齊氏は「忙しいオフィスワーカーにとって、栄養は“意識”だけでは続けにくい時代です。だからこそ、自然と栄養を選びやすい環境をつくりたい。キウイを、働く人を支える“栄養社会のインフラ”にしていけるよう、これからも挑戦してまいります。」と、今回の提携に込めた思いを語り、OFFICE DE YASAI の好岡氏は「健康的な食事をしたくても、時間がなく難しいという声を多く聞いてきました。健康は個人任せではなく、職場環境から支える時代だと感じています。」と、オフィス向けに生鮮食品を届けてきた事業者としての視点を語りました。

<「キューピー株式会社」オフィス内導入について>

このたび、キューピー株式会社の本社オフィスにおいて、「栄養診断自販機」を導入いたします。

今回の導入は、従業員への栄養診断の機会とゼスプリキウイフルーツの提供を通じた、健康経営における有効性検証の一環です。一定の導入期間を設け、利用者のフィードバックを基にシステムの最適化を図ります。

■ 概要

- ・導入企業：キューピー株式会社（※今後、その他企業への導入も順次予定しております。）
- ・導入期間：2026年6月22日（月）～6月26日（金）

<ゼスプリと OFFICE DE YASAI のパートナーシップ提携について>

ゼスプリと OFFICE DE YASAI は、働く人の栄養環境を見つめ直す新たな考え方「ワーク栄養バランス」の実現に向け、パートナーシップ提携を締結いたしました。

本提携では、個人の意識改革だけでなく、職場全体で手軽に栄養を整えられる環境づくりを推進。両社の知見や既存の取り組みを掛け合わせることで、オフィスワーカーの栄養課題解決に取り組んでまいります。

今後は、この考え方に賛同し、ともに実践していく企業・団体を広げていくことで、栄養を起点とした新しいワークスタイルの定着を目指していきます。

<累計導入実績 25,000 拠点*7 の設置型健康社食®OFFICE DE YASAI にゼスプリが本格導入>

ゼスプリは、設置型健康社食®OFFICE DE YASAI のカットフルーツとして、ゼスプリキウイの取り扱いが開始。7月6日（月）より注文可能となります。全国累計 25,000 拠点以上に導入されている設置型健康社食®OFFICE DE YASAI の対象企業にて、注文いただけます。オフィス内で栄養豊富なフルーツが手に入りやすい環境を整備することで、全国のオフィスワーカーの栄養改善をサポートし、「ワーク栄養バランス」の実現を目指します。

*7) 2026年5月時点



3. 「ワーク栄養バランス」について

ゼスプリと OFFICE DE YASAI が新たに提唱する、働く人の栄養環境を見つめ直す新しい労働環境づくりの考え方です。個人の意識改革にとどまらず、職場全体で栄養を整えやすい環境づくりを目指しています。

※監修：一般財団法人 日本栄養実践科学戦略機構

<6つの心得>

第1条 「1日の仕事は栄養補給から」

身体が整って初めて、やる気もでる。働き始めるまえに、まずはパワー注入。

第2条 「いい食事が判断力を支える」

栄養不足や空腹だと、判断がブレてしまいがち。午前中の大事な会議ほど、栄養を整えてから臨もう。

第 3 条 「コンビニ飯はバランスよく」

コンビニに頼るのも立派な仕事術。賢く一品プラスして、ランチの栄養バランスを改善。

第 4 条 「午後の眠気は食べ方で変わる」

その眠気、血糖値のアップダウンが原因かも。コーヒーもいいけど、フルーツでやさしく整えよう。

第 5 条 「おやつも立派な自己投資」

通勤前のラストスパートは、おやつが鍵を握る。栄養たっぷりのフルーツなら集中力も上がるかも。

第 6 条 「栄養はチームでマネジメント」

栄養がとりやすい職場をつくることで、会社全体のパフォーマンス向上へ。

◆「ゼスプリ栄養改革プロジェクト」について

ゼスプリは、誰もが栄養バランスのとれた食事を「楽しく手軽に」とれる社会を目指し、2024 年 8 月 4 日に「ゼスプリ栄養改革プロジェクト」を発足しました。

一見、健康的と思われがちな日本人の食生活ですが、実は日本の成人の 3 人に 1 人が栄養不良に陥っています*8。近年、日本人の食生活は多様化する一方で、栄養バランスの偏りや果物摂取量の不足が課題となっています。「ゼスプリ栄養・食生活 1 万人調査」*9 によると、毎日栄養バランスの良い食事がとれない理由としては、生活スタイルの変化（忙しさによる手間回避）や食品価格の高騰、個食による食生活の偏り、栄養に関する知識不足などが明らかになりました。

こうした課題に対し、日本における栄養不良の改善を最終的な目標とし、高品質で栄養価の高いキウイフルーツ 60 億食分を通して、より多くの健康的な食事の機会をつくる多彩な栄養改革アクションを行ってまいります。

※栄養改革プロジェクト特設サイト：<https://www.zespri-jp.com/lp/zespri-eiyou-kaikaku/>

*8) 厚生労働省「健康日本 21（第三次）」の「栄養・食生活に関連する目標」における「BMI 18.5 以上 25 未満（20 歳以上 64 歳まで）および BMI 20 を超え 25 未満（65 歳以上）の者の割合」の「現状値 60.3%」をもとに算出
(<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/kaigi/attach/pdf/230906-17.pdf>)

*9) 「ゼスプリ栄養・食生活 1 万人意識調査」 調査期間：2024 年 6 月 21 日～24 日 調査機関：電通マクロミルインサイト
調査方法：インターネット調査 調査対象：全国の 20-70 代 10,200 名

◆ゼスプリ・キウイフルーツについて



キウイは小さな果実に毎日の食生活に摂り入れたい 10 種の栄養素を含んでいます。ゼスプリ・グリーンキウイは、甘みと酸味のバランスが絶妙で現代人に不足しがちな食物繊維が豊富に含まれており、不足しがちな食物繊維を補うのにぴったりです。また、ゼスプリ・サンゴールドキウイは、トロピカルな甘さが人気でビタミン C が豊富に含まれており、1 個で 1 日に必要なビタミン C を摂ることができます。

※キウイの栄養に関する詳細はこちら

<https://www.zespri.com/ja-JP/blogdetail/8-important-nutrients>

◆ゼスプリについて

ゼスプリは、キウイフルーツという小さな果実の恵みを通して、世界中の人々・コミュニティ・環境の発展に寄与することを目指しています。小さなキウイでも毎日の食生活に加えることで、おいしく健康的な食習慣づくりに役立てていただけるよう、今後も食生活に役立つ情報を発信していきます。

◆株式会社 KOMPEITO (コンペイトウ) について

「世の中にシゲキをつくる」をミッションに、2012年9月に設立したベンチャー企業です。

農作物の販路を広げたいという想いから、2014年より働く人と企業の健康を促しオフィスの食事環境を整える食の福利厚生サービス“設置型健康社食®”「OFFICE DE YASAI (オフィスでやさい)」をスタート。

消費者と生産者を繋ぐ新たなチャンネルを通じ、農産物の流通改革にチャレンジしています。

<https://kompeito.co.jp/>

<一般からのお問い合わせ先> ゼスプリお客様相談室

TEL : 0120-171491 / 受付時間 : 9時~17時 (土日祝日、年末年始除く) / MAIL :

info.japan@zespri.com